

総務局

一般会計要求総額 4,356百万円
(対前年度 ▲6.4%)

平成30年度 予算要求の経営方針

総務局は、多様化する行政ニーズに対応し、市民に信頼される市役所づくりを推進するため、人材育成や行財政改革、情報化の推進等、全庁的な総合調整機能を果たしていくとともに、次の3点について積極的な取組みを進めていく。

- (1) 『北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略』に基づく女性活躍事業の推進
- (2) 情報システム関連の整備や施設の維持管理等、行政サービスの安定的な運営
- (3) 平和への取組みの推進

【平成30年度 予算要求の基本的な考え方】

新規：新規事業、**拡充**：拡充事業

『北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略』に基づく

女性活躍事業の推進

要求額 477百万円 (対前年度 ▲0.8%)

企業や地域における、女性の活躍をサポートすることにより、暮らしやすい社会、活力ある社会を形成し、本市への女性の定着と社会経済の活性化へとつなげていく。

- 新規** ■働き方改革先進都市事業
- 拡充** ■ウーマンワークカフェ北九州運営事業
- 女性創業応援団事業
- ワーク・ライフ・バランス推進事業



情報システム関連の整備や施設の維持管理等、

行政サービスの安定的な運営

要求額 2,761百万円 (対前年度 ▲10.3%)

本市の情報システムの安定稼働を図りつつ、マイナンバー等の新たな分野における活用へ対応していく。また、「北九州市公共施設マネジメント実行計画」等に基づき、総務局の所管する公共施設において、定期的・計画的な改修・整備の実施により、適正な施設の維持管理行っていく。

- 新規** ■官民データ活用推進計画策定
- 拡充** ■社会保障・税番号制度対応事業
- 拡充** ■全庁GIS(統合型GIS)運用事業
- 本庁舎中央監視システムリフトユニット更新工事
- 本庁舎受変電設備更新事業

平和への取組みの推進

要求額 10百万円 (対前年度 ±0%)

戦後70年余りが経過し、当時の様子を知る人が少なくなるとともに、悲惨な戦争の記憶を風化させることがないように、戦争を知らない世代に伝えていく。

- 非核・平和推進事業



※公開時点での予算要求の内容であり、平成30年度に実施することが確定しているものではありません。